

第21回名古屋大学ホームカミングデイ 環境学研究科イベントを開催しました。

2025年10月18日、名古屋大学ホームカミングデーの環境学研究科企画として、公開ワークショップ「地域から考える《南海トラフ地震》——紀伊半島の漁村をめぐって」を開催しました。三重県紀北町を事例に、地震学、社会学、建築学の専門家が将来の地震災害に対する地域のあり方について議論しました。約30名の御参加をいただき、フロアも交えて熱心な討論が行なわれました。

また同日、同窓会企画として、トークセッション「環境学研究科と社会のつながり」も開催されました。環境学研究科の「知の共創プログラム」を修了された方々に登壇いただき、進学したきっかけ、博士論文に取り組んだ経験、現在の仕事への展開について、興味深いお話を伺いました。まさに、研究と社会が地続きにつながっていることを実感できる時間でした。

